時事新報定價
時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遞送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓
一箇年前金六圓
〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ發送スルモノニ限リ本文定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ發送料ヲ申受ク
時事新報廣告料前金一行ニ付

一行廿四字詰	一日限	二日以上 六日迄	七日以上 十五日迄	十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢	六錢
自十一行至廿行	九錢	七錢	六錢	五錢
三十一行以上	八錢	六錢	五錢	四錢

二圓六錢八厘	二圓五錢九厘	二圓四錢五厘	二圓二錢八厘	二圓
五錢八厘	五錢五厘	五錢	四錢五厘	四錢

時事新報

英國東洋の航路（昨日の續）

渡邊生

英國東洋貿易の中心と假に香港なりと定めて本國よりこれに達する航路の長短と如何にと云ふに今は蘇西運河を經て印度カルカタまでの距離英國より凡そ七千六百四十海里、カルカタより香港まで同く三千零十七海里あるが故に英國と香港と相距ること一萬零六百五十七海里なる可し然るに今回新に開けたる加奈陀太平洋鐵道の線路と見るに英國より太西洋を踰えてモントリールまでの距離二千八百英里モントリールよりヴァンクーヴァル間の鐵道線路二千九百零六英里にしてヴァンクーヴァルより我横濱を經て香港に達するの里程五千九百十六英里此延長を合計すれば英國より加奈陀を經て香港までの距離は一萬一千六百二十二英里なれども是れは陸英里の計算なれば今爰に六海里と七英里に當てて右の距離を海里の數に改算すれば實に九千九百六十二里程を得可し即ち英國東洋の航路にして加奈陀線路に依る者は蘇西線路に較べて香港までの距離六百九十五海里と減ずるの割合なれども蘇西線路の里程ヒサウサムトンより起算し加奈陀線路の距離はリヴァプルを元としたるの相違もあり其他海洋航行の都合に因りては自ら線路に屈曲を生じて豫め一定の長短を定め難き事情もあるに疑なければ右加奈陀線路の距離に六百九十餘海里を減ずるの利益なくして蘇西線路と其里程は一樣なりとするも既に前號にも論述したる如く蘇西の線路には運河中立の望、覺束なきのみならず縱令へ中立の條約は成るとも如せよ一旦他の强國の斷然英國に抗して爲す所あらんとするに會すれば運河航行の自由は全く之が爲めに妨られて英國東洋の航路と失ふに恐、非常なる可けれども加奈陀線路は之に反して少しも斯る危險あるを覺えず或は太西洋の航路と雖も何れの邊より敵に攻擊を裝ひるやも知る可らざるに似られ共之と今日地中海より蘇西運河と航するの不安心に較べさらば聊かも掛念とするに足らざるの次第にして且つ數艘の軍艦と派して常に洋上の巡邏を嚴にしたらば太西洋の航權は總て英國の手に歸するに相違なかる可し斯て又加奈陀にハ二千九百英里の鐵道を利用してヴァンクーヴァルより更に太平洋を渡り直線香港に向ふ可ければ單に安全の點に於ても英國東洋の航路は今後轉じて加奈陀線路に依るべシと自然の勢にして特ま又蘇西線路に由れば英國より直航して東洋に達するに少あくも五十餘日と要するま加奈陀線路あれば僅々四週日に足らずして容易に來るを得るが故に兩線相對して一は恰も其日數を半にしたる者あり既に本年の九月中英國政府は東洋郵便物運送の補助として加奈陀太平洋鐵道會社に年々二十二萬五千弗を附與すると約したる如きハ全く此新線路を利して東洋の航路を一變せんとするの為策に出でたると事實に於て歟ム可ら東洋諸國と西洋との交通は斯く次第に便利と爲りさるは悅ぶ可きの至りなれども又一方より考ふれば我門外に敵の一歩と近づけたるの思ひなシにも非ず我輩の甚だ掛念する所あり

英國東洋の港ハ今日に於て唯一の香港あるのミなれども東亞貿易の中心ハ次第に東方ゑ遷りて今の香港市場は漸く西邊に偏したるの姿もあれば更に香港の以東に於て新港を開クざる可らずとは近來英國の輿論の許す所にして特に香港の地勢は恃んで以て東洋の軍港炭港と爲す可らざるの不便もあり兵略の點ゑ於て勢ひ香港の外に他の港を求めざる可ゑずあゞの考よりして一昨年の四月中突然にも朝鮮の近海に巨文嶋を占領して砲臺を築き水雷を布き一時永遠の有樣を示ゑさるより我輩も之と視て儲い香港以東に軍港と作るの計畫を實行したる者ある可しと思ひ居さるに昨年に至りて俄に占領を解き英國の艦隊該嶋を引拂ひたるは如何にも不審に堪へざるの次第にして英國は永遠香港一港の外に一切他の港を求めざるの覺悟なるや否や甚だ疑はざるを得ざりしなり然るに今回加奈陀線路の開けたるハ恰も「香港よりも尙ほ英國に近くして兼て同時に東洋貿易の好中心たる可き良港」を撰ひの機會を與へたる者に殊ならざれば東洋政略の上に於ても遠からず目覺しき運動を視るとならんとの想像は必ずしも無稽に非ざる可し今日までは英國の東洋政略を實施するにも香港より以東に離れれば離るゝはどゑ其距離遠隔して百事不便ならざるなければ隨て充分の運動を遮られさるの趣ありしゑ今は距離の關係顚倒して同く香港の東と離るれば離るゝゆゑ本國との距離遊まゑ接近して其働ひも自在あらざるあかる可し例へば横濱より香港までの里程一千三百五十六海里にして其航路を從來の蘇西線に採る者とすれば横濱は香港に較べて英國を距るの遠き一千三百海里あれとも加奈陀線に由れば之ゑ反して横濱は香港よりハ英國に近ゑと更に一千三百海里餘なりと云はざる可らず人爲文明の力を以て適化自然の働きを制したるの妙い古來驚くべき者多しと雖も斯くまで に距離の關係と轉倒せしめたるの例は殆んど我輩れ聞かざる所にして言葉を替へて評すれば日本國は突然にも香港以西一千三百里外の地に移されたる者に殊なゝず國を東洋に建るものい商賣に政略に今後此變に處するの覺悟あると大切なりと云ふ可し隨て英國東洋の航路の變化と與に英國政府は更に太平洋の艦隊を編製しヴァンクーヴァルより東洋諸港に通ずるの線路を防禦するは實に已む可らざる次第にして從來の印度艦隊支那艦隊の其外に尙ほ太平洋艦隊を增すとも亦あらば英國の東洋に對する武威兵力は一層强大と爲りて其擧動の遠からず人を驚ろ者ある可きは我輩の期して疑はざる所なり

（完）

雜報

○東京體操傳習所　は去る十九年八月の創立以來本年本月に至る迄三百餘名の卒業生ありて今後猶次第に盛んなるの勢ひあるに付ては更に元高等師範學校體操教師栗原氏及び元陸軍下士官二名と增聘し又改正教則も愈々整備したれば之を今般募集の生徒より實施して益々授業の完全と計るといへり

○婦人慈導會　芝區愛宕町なる東京慈惠醫院のために開設する第三回婦人慈導出品會は孫て紙上に記したる通り彌よ〳〵來十七八九の三日間午前十時より午後五時まで內山下町の鹿鳴館に於て開會の都合あり

○琴陵千楯氏　讃岐金刀毘羅宮宮司琴陵宥常氏の長男千楯氏は未だ若年なれとも慧才の聲ひとして本年の始め上京し英學修業に熱心して日夜讀學怠らざりしが本月二日突然上唇の右邊ゑ腫物を發して遂に危篤に迫り去る九日死去したるハ惜む可きとあり右に付宥常氏も上京し昨十三日青山墓地ゑて葬式と行ひたるに華族紳士數百名會葬したりしと

○十月中大坂商業の概況　銅は追々好景氣ありしが十月中旬頃よりは殊に外國への輸出多ク爲めに品拂底となりて價格大に騰貴せり其高低平均相場ハ百斤に付上等十六圓六十一錢中等十五圓五十一錢下等十四圓六十一錢其輸出斤數は東京及京都へ十二萬斤輸入は九州作州三備攝州雲州大和等より十九萬斤府下の需用は八萬五千斤にて月末殘高十萬三千斤なり○椎茸は春子品已に出る秋子品は薄口物出廻り直段い高價の氣配にて殊ゑ清國商人盛取の季節にて漸次騰貴の勢あり同月中の平均相場は百斤に付上品四十圓五十錢中等卅七圓五十錢下等卅五圓にて輸出い清國へ二萬三千五百斤輸入は日向豐後薩摩肥前土佐紀伊等より二萬五千斤府下需用は五百斤即ち月末殘數一千斤なり○白砂糖同月は新糖入船の季節ゑ付現在品の望人あく賣買至て少なくして殆んと休業同樣ハ奏なり殊に新蘆立替に付舊糖は下落の姿なり此平均相場は一斤に付上品八錢七厘五毛中品は八錢三厘五毛下品八錢一厘にて輸入は三本松二百三十挺志度二百挺多度津百五十三挺同阿波砂糖も同樣讃岐新糖入津の季節に買付人の足取惡しく是亦休業の姿にて價格も漸次下落の模樣あり即平均相場は一斤に付上品十三錢五厘中品十一錢七厘五毛下品八錢二厘五毛輸入は板野郡二百五十挺阿波郡八十挺なり○石炭は同月中風合惡きが爲め上り荷少なく爲めに同業者一般に蔕蘭品の拂底をゑしと爲め一萬斤に付五十錢方騰貴せり同平均相場は一萬斤に付唐津物上品廿一圓廿五錢中品即銅物十七圓廿五錢下品古田浦十五圓七十五錢三池上等二十圓廿五錢賣捌輸出は四百六十萬斤京都八十萬斤名古屋四十萬斤勢州三十萬斤輸入は唐津豐前筑前三池等より七百四十萬斤即月末殘數三十萬斤○樟腦は現品至て少なく且外國輸出口望取多きが爲め追々騰貴の勢あり此平均相場は百斤に付上品十八圓七十五錢なり輸入は薩土紀日豐後、筑前等より六萬斤輸出不明なゝ○和銀は產地より輸入少なく爲めに追々高直に赴き去る九月に比し一駄に付上等八十錢中等八十五錢下等二圓十錢方の騰貴あり又平均上品物伯甘七貫目に付八圓三十五錢中品七圓八十五錢下品七圓十錢輸入は伯產二千百束輸出は東京千百束中國筋二百束攝津紀州三百五十束府下需用は三百束にて月末在荷百五十束○藩州鐵秋印一駄に付七十錢冬印同七十錢方騰貴平均相場は秋印二十四貫目に付上品九圓五十錢冬印五圓廿錢なり輸入い藩州より二千八百束輸出は東京及東國筋へ十四百五十束中國筋へ五百束大和紀州へ三百五十束府下需用ハ二百五十束にて月末殘高二百五十束なりと

（以下次號）

○大坂に於ける肥料　大坂にて賣買する肥料の大概は北海道より輸送し來るものゑて通例年の五六月より始めて十一月迄でゑ運漕し終るゝゑし船は大概和船なれとも今年は蒸氣船幷に帆前船も中々に多く只今同所川口其他に繫留するの和船蒸氣等と合して九百餘艘なりと已に今日まで に陸上げしゑるの鯡粕廿七萬俵あり猶直段は如何にと云ふに當秋季ゑ至りて大に上騰したり其次第は本年同品の漁獲高少きと三井物產會社が八月上旬頃より通常の相場より十貫目に付弐十錢方も上買して搔き集めゑるに因る二圓四五十錢あり併し同方と今年の大根、麥れ肥農家の買入るゝものあり又一方より考ふれば我輩の甚だ掛念する所なり

○大坂府に於ける卷煙草　御小賣の業と營めるもの業人は八十餘軒にして一箇年に三千五百餘圓に及ぶゑ頃より本年四月頃に掛て拂底の有樣あゞし處同五月の捌方俄かに衰へて紀州を增加し來りたるに付き同を增加したゝと云ふ其次第と全體方は東京、鹿兒嶋、熊本、馬の內にも最も賣口宜しく嶋なゝとす然るに遠方の俄ゑに變りたることを知の景氣なりと心得山の如ぞ買らん需用の繁簡冷熱は屋も堅く手を拱ぬき見向れとも海路を遙々と危險を流石に大損毛を爲して手離之れと運び戻すは猶一際の無據今ゑ投賣りにして遠々始末にして今は同地へ積み無とありたるよしなるが目卷百本に付弐五錢五厘、同鹿兒嶋授產場製八分卷同十錢、東京太田製函入三等賞十錢、同袋入にて一寸卷十錢卷二錢、八分同二錢五厘、地に二錢宛を增し以下い二錢者の近頃廢業するものも多し

○大津通信（十一月十日發）過般來工事中なりし電氣燈五百燭光の試驗ハ去る三日午後五時三十分より點人と限り觀覽と許すといふ此程福島、福井の兩縣より縣の隊列場へ出品あらん事各郡へ右出品の輸送を爲し時地を出發して西京へ赴く

○海底電線敷設の計畫　佛ブラフル（南亞米利加）、中ユーヨーク社間に海底電線五百萬フランの募集も既に得たるよし巴里近著の報

○新刊書　加屋波地全傳建りと聞えたるガリバルディクトルエマニュエル王を補ゼでを安岡雄吉氏が寡聞補の豪傑の傳記ありといひ殊

海軍機關師佐藤專一郎
海軍省告示第四號ヲ以テ開設ス

御料理開業廣告
當樓儀書家屋ヲ廣ク新ニ二層ノ大樓新築ノ爲メ久シク休業致居候所此程大廣敷ト初ノ御坐敷向悉ク新ニ造成ス

日本料理　新もし花月樓

來ル十六日本科別科受驗科目中コ來館スベシ但當日以

入學終期